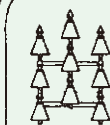


第26回 城東公民館文化祭

10月25日(土)、城東公民館文化祭を開催しました。
7団体による舞台発表を披露いただき、観覧者からは、手拍子や掛け声、アンコールの声で盛り上がるステージもありました。
展示コーナーでは、旭町小学校の児童や旭町中学校の生徒の作品をはじめ、地域住民の作品を展示しました。
「てくてく」、「湯芽市」による販売コーナーや保健師による健康相談も好評でした。



城東

● 城東地区 ●
2020 世帯
男 1707 人
女 1829 人
合計 3536 人
R8.1.1 現在



シルバーうぐいすの会



殺陣 ちいむバチボコ



Wing



元町児童館 一輪車チーム



劇団
城東のゆかいな仲間たち



琴友会



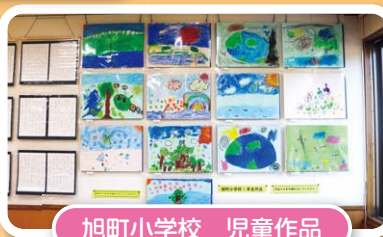
信州大学ケルト音楽研究会
S-Celts



写真



保健師 健康相談



旭町小学校 児童作品



旭町中学校 生徒作品



ハーバリウム



松本佛彫会



湯芽市 販売コーナー



てくてく 販売コーナー



着物リメイク



「認知症座談会兼町会サロン」が、12月1日、和泉町2丁目町会で開催されました。町会会員の懇親も兼ね、5人の会員が集い認知症への理解を深めました。松本市中央北地域包括支援センター川上葉氏を講師に迎え、認知症の種類や症状、治療や対策、更には地域での関わり方など、ゆつたりとした和やかな雰囲気の中で傾聴し、意見も交わされました。



認知症座談会

認知症は誰でもなりうるものとして、自分ごととして備え、正しく理解することが大切です。認知症になったからといってすぐに何もかもできなくなるわけではなく、症状や進行のスピードには個人差があります。その人らしく生きるためには、介護する側、介護される側からの視点で知識を身につけて、かかりつけ医や地域包括支援センターに相談しながら、松本市が行っている各種施策を利用し、「伴走」してくれる相手を見つけるのも有効です。

参加者の中からは「介護の経験は先が見えないので大変で、後悔したこともあったけれど、たくさん学びもありました」「認知症にならない為には、近所の人や友人との会話・運動などを大事にしなが、規則正しい生活が大事ですよ」など、日頃の思

いが語られました。住み慣れた地域で暮らし続けられるように「お互い様」の精神が大切。「認知症になっても近所の人がいともと変わらず接してくれるという安心感が一番の「薬」である」ことなど、地域での支えあい大切さを知るひとときになりました。今後、こうした地域での勉強の機会やふれあいの場を大事にしたいと思いました。和泉町2丁目町会 中村敬子

旭町小学校児童からの
さつまいも掘りのお礼の手紙



旭町中学校 読み聞かせ
12月10日～12日



コミュニティスクール事業



11月18日
須坂市 笠鉾会館



11月18日
須坂市 重要伝統的建造物群視察



11月16日
人権コンサート 楽団ケ・セラ

公民館事業



12月21日
育成会 餅つき大会



12月14日
モルック大会



11月26日
文化施設見学 軽井沢高原文庫